

112 【三角比】

四面体 ABCD は、 $AB=6$, $BC=\sqrt{13}$, $AD=BD=CD=CA=5$ を満たしているとする。

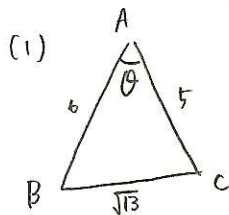
(1) $\angle BAC=\theta$ とするとき、 $\cos\theta$ および $\sin\theta$ の値を求めよ。

(2) $\triangle ABC$ の面積を求めよ。

(3) 頂点 D から $\triangle ABC$ に下ろした垂線を DH とすると、 $AH=BH=CH$ が成り立つことを示し、AH を求めよ。

(4) 四面体 ABCD の体積を求めよ。

(5) 頂点 B から $\triangle ACD$ に下ろした垂線の長さを求めよ。



左図で余弦定理より、
 $(\sqrt{13})^2 = 5^2 + 6^2 - 2 \cdot 5 \cdot 6 \cdot \cos\theta$
 $13 = 25 + 36 - 2 \cdot 5 \cdot 6 \cdot \cos\theta$
 $-48 = -60 \cos\theta$

$\cos\theta = \frac{4}{5}$

$\sin^2\theta + \cos^2\theta = 1$ より

$\sin^2\theta = \frac{9}{25}$

$0^\circ < \theta < 180^\circ$ より $\sin\theta > 0$

$\therefore \sin\theta = \frac{3}{5}$

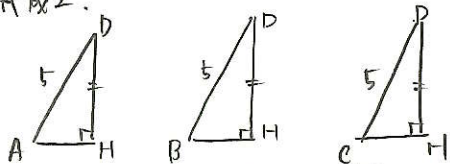
(2) $S = \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot 6 \cdot \sin\theta$
 $= \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot 6 \cdot \frac{3}{5} = 9$

(3) <証明>

頂点 D から $\triangle ABC$ に下ろした垂線を DH とすると、

$AH \perp DH$, $BH \perp DH$, $CH \perp DH$

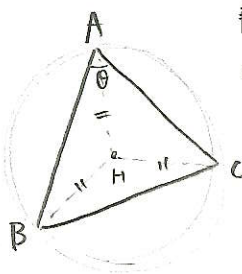
が成立。



直角三角形の斜辺と他の一辺が等しいので

上図の 3 つの三角形は合同。

$\therefore AH=BH=CH$



前を示したように、H は

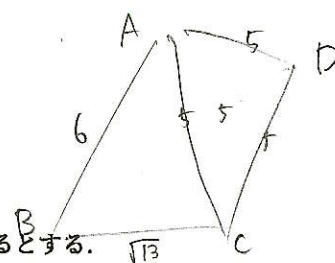
$\triangle ABC$ の外心であり

よって AH は外接円の半径 R。

正弦定理より、

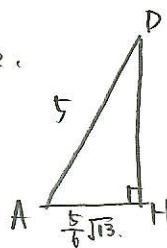
$2R = \frac{\sqrt{13}}{\sin\theta}$

$R = \frac{5\sqrt{13}}{6}$



(4)

さて、



(学習院大 改)

三平方の定理より、

$25 = \frac{25}{36} \cdot 13 + DH^2$

$25 \cdot \frac{23}{36} = DH^2$

$DH = \frac{5}{6}\sqrt{23}$

\therefore 求める体積 V は

$V = \frac{1}{3} \cdot \triangle ABC \cdot DH$

$= \frac{1}{3} \cdot 9 \cdot \frac{5}{6}\sqrt{23}$

$= \frac{5}{2}\sqrt{23}$

(5) 求める垂線を BM とおく。

四面体 A 体積 V は

$V = \frac{1}{3} \cdot BM \cdot \triangle ACD$ とおける。

さて、

$\triangle ACD = \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot 5 \cdot \sin 60^\circ$

$= \frac{\sqrt{3}}{4} \cdot 25$

$\therefore V = \frac{1}{3} \cdot BM \cdot \frac{\sqrt{3}}{4} \cdot 25$

よって $\frac{5}{2}\sqrt{23} = \frac{1}{3} \cdot BM \cdot \frac{\sqrt{3}}{4} \cdot 25$

$BM = \frac{6}{5} \cdot \frac{\sqrt{23}}{\sqrt{3}}$

$= \frac{2}{5}\sqrt{69}$